Kashimura

BL-45

Bluetooth3.0イヤホンマイク
クリップ USB

保管用
保証書付

取扱説明書

※お買い上げありがとうございました。
※ご使用前にこの取り扱い説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
※お読みになった後は、大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意 ―― 1
警告 ―― 2
注意 ―― 3
各部の各称と働き ―― 4
使用上のご注意 ―― 5
使用方法(初めて使用する場合) ―― 6
主なBluetooth搭載機種のペアリング方法 ―― 7～10
使用方法 ―― 11～13
故障かな？と思ったら ―― 14
保証書 ―― 15

安全上のご注意　必ずお守りください。

＊ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
＊ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
＊また注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

記号の説明

❗	この記号は必ず実行していただく内容を示しています。
⃠	この記号はおこなってはいけない内容を示しています。

⚠危険

- ⃠ ＊耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。耳をやるため音量を上げすぎないようにご注意ください。
- ❗ ＊走行中での携帯・自動車電話機の使用は法律で禁止されていますので万が一電話をかける場合は安全な場所に停車してから携帯電話機の操作をおこなってください。
- ⃠ ＊走行中はハンズフリー通話以外には使用しないでください。
- ⃠ ＊航空機の運行に支障をきたすおそれがありますので、本製品は機内で使用しないでください。

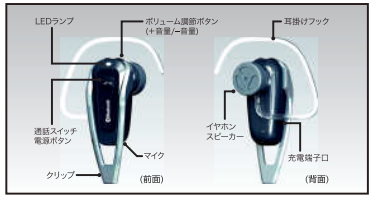
⚠警告

- ❗ ＊本製品を正常にご使用中、異臭・発煙・変形などの異常が起きた場合には、ただちに本製品の使用を中止してください。（感電・火災・事故の原因となります。）
- ❗ ＊熱器具の近くや直射日光の当たる所で本製品を充電したり、放置しないでください。（火災・事故の原因となります。）
- ❗ ＊本製品を充電する際は必ず付属されているUSBケーブルをご使用ください。（火災・故障の原因となります。）
- ❗ ＊付属品のUSBケーブルは本製品専用となります。本製品以外の充電には使用しないでください。USBケーブルはUSB端子5V以外では使用しないでください。（事故・故障の原因となります。）
- ❗ ＊本製品を充電しながら耳に付けて使用したり、衣服などにクリップしたまま充電しないでください。使用する際は必ずUSBケーブルを本製品から外してください。（事故やけがの原因となります。）
- ❗ ＊充電終了後は必ずUSBケーブルから本製品を外し、USBケーブルをUSB端子から抜いてください。（火災・事故の原因となります。）
- ⃠ ＊USBケーブルのコードや端子が痛んだり、USB端子の差し込みがゆるいときは使用しないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
- ⃠ ＊USBケーブルのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものの下敷きにしたり、はさみ込んだり、加工したり、本体に巻きつけたりしないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
- ⃠ ＊子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所では使用しないでください。（事故やけがをするおそれがあります。）
- ⃠ ＊水につけたり、ぬらしたりしないでください。また湿気の多い所やぬれた手で使用しないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
- ⃠ ＊絶対に分解・修理・改造をしないでください。（発火や異常動作によるけがの原因となります。）

⚠注意

- ❗ ＊窓を閉めきった自動車の中やダッシュボードの上などの直射日光があたる場所やエアコンの吹出口などの異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。（事故・故障の原因となります。）
- ❗ ＊USB端子からUSBケーブルを抜く時は、必ずUSB端子部を持って抜いてください。（感電やショートして発火することがあります。）
- ❗ ＊落としたり、ぶつけたりして破損した場合は使用しないでください。（感電・発火の原因となります。）
- ❗ ＊充電完了後に長時間USBケーブルをUSB端子に接続したままにしないでください。また充電終了後は必ずUSB端子からUSBケーブルを抜いてください。（事故・故障の原因となります。）
- ⃠ ＊自動車内で使用した場合、車種により車載電子機器に影響を与える場合があります。安全運転を損なうおそれがありますので、そのような場合は使用しないでください。（事故・故障の原因となります。）
- ⃠ ＊調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたる場所には置かないでください。（事故・故障の原因となります。）
- ⃠ ＊イヤホンパッドをしっかり取り付けてください。イヤホンパッドなしで装着したり、イヤホンパッドがはずれて耳に残ると病気の原因となることがあります。
- ❗ ＊装着中に気分が悪くなるなど異常を感じたときは直ちに使用を中止し医師または弊社の相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
- ⃠ ＊イヤホンマイクは音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多い所では音量を上げてしまいがちですが、イヤホンマイク使用中はいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
- ⃠ ＊子供の手の届く所には保管しないでください。（事故・ケガの原因となります。）
- ⃠ ＊湿気の多い所には保管しないでください。（絶縁劣化により感電することがあります。）

各部の名称と働き



【製品仕様】※動作時間は携帯電話機や使用環境によって異なります。

無線方式	Bluetooth Ver.3.0（Class2準拠）
送信周波数範囲	2.4GHz～2.4835GHz
対応プロファイル	HSP / HFP
マルチポイント	2台
無線距離	約10m
電源供給	リチウムポリマー電池
充電時間	約2時間
連続通話時間	約7時間
連続待受時間	約120時間
外観寸法	W21×H54×D25mm
動作・保証環境	温度 0～45℃（結露しないこと）
付属品	USBケーブル(約45cm) 耳掛けフック

右耳で使用する場合

※左耳用のフックを取り外し、右耳用に付け替えてください。
※取り替える際は耳掛けフックが外れないようにご注意ください。

※ご案内する適合は携帯電話での通話についての確認結果です。連続使用時間、連続待受時間、マルチポイント機能などの動作を保証するものではありません。また、機器の仕様変更（ソフトウェアの更新など）により適合情報が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

使用上のご注意

良好な通信のために

＊接続機器とは見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては通信距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
＊電気製品（AV機器・OA機器・電子レンジなど）から3m以上離して通信してください。テレビやラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
＊無線機や放送局の近くなどで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
＊接続機器からの接続要求に応答するために、低電力ではありますが常に電力を消費しますので使用しないときは電源をOFFにすることをお勧めします。

内蔵電池について

＊3時間以上の長時間の充電はしないでください。
＊電池は寿命があり消耗品ですので、保証対象外となります。
＊十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたら、ご利用いただけない場合は電池の寿命となります。（電池の交換はできません。）
＊リチウムポリマー電池の特性上、高温での保管はおすすめできません。

使用する電源について

＊本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが以下の場所や機器の近くでは使用しないでください。

2.4 FH 1
使用電波帯：2.4GHz
変調方式：FH-SS
与干渉距離：10m

※病院内・電車内・航空機内・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
※電子レンジ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
※自動ドア・火災報知器など
※工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
※特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
※IEEE802.11b/g無線LAN機器

上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると電波の干渉を発生するおそれがあります。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運営されています。

使用方法（初めて使用する場合）

【ペアリング（初期設定）をします。】
7～10ページに主なBluetooth搭載機種のペアリング方法が書いてありますので下記の内容と合わせてご確認ください。

❶本製品の電源がOFFになっていることを確認してください。
❷ペアリング（初期設定）可能な状態にするために電源ボタンを約5～8秒押し続けて本体のランプを青色点滅後の**赤・青交互の点滅**の状態にしてください。
❸使用する携帯電話機のBluetooth機能設定にてペアリング可能な機器を検索してください。検索方法は携帯電話機により異なりますので、詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。
❹検索画面に「BL-34/35/45/47/48」と表示されますので表示された番号を選択してください。

❺選択した後は携帯電話機の指示に従い操作をしてください。
認証のために携帯電話機によりパスキーの入力が必要な場合があります。パスキーを要求された場合はゼロ4つ「0000」を入力してください。接続する種類を要求された場合は「ハンズフリー」を選択してください。「ヘッドセット」を選択した場合は機能が正常に動作しない場合があります。
＊パスキーという表記名は携帯電話機の機種により異なりますので詳しくは携帯電話機の取扱説明書を参照してください。

❻本製品の電源ランプが**青色点滅**になったらペアリング設定は終了です。
＊ペアリング設定中に間違えてしまったり、ペアリングを失敗してしまった場合はもう一度始めからやり直してください。

【2台目のペアリング方法について】
❶1台目の携帯電話との接続が終了した携帯電話と本製品の電源をOFFにします。
❷2台目の携帯電話と本線品をペアリング（初期設定）し接続します。
❸2台目の携帯電話と本製品はそのままで1台目の携帯電話の電源をONにします。
❹1台目の携帯電話のBluetooth項目から本製品との接続作業をし、接続中に本製品の電源ボタンを1回押すと接続され2台の携帯電話と接続することができます。

【充電について】（**耳にけたままで充電したり、衣服にクリップしたまま充電しないでください。**）
※USBケーブルを使って充電します。
※本体のランプが赤色に光ると充電が開始されます。
※本体のランプが青色になると充電終了となります。
（充電時間の目安は電池切れの状態で約2時間）

【電池切れについて】
＊電池が無くなると赤色ランプが点滅しイヤホンから電子音が鳴ります。
電池切れになった場合は付属品のUSBケーブルを使用し充電してください。

主なBluetooth搭載機種のペアリング方法

※ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

docomo

機種	NEC N-05E	NEC N-02E	パナソニック P-06D
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了

機種	パナソニック P-05D	富士通 F-04E	富士通 F-10D
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 本体設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 本体設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了

携帯電話機の機種別ペアリング方法

バーコードを携帯電話機のバーコードリーダーで読み取り、各機種のペアリング方法をご確認いただけます。バーコードリーダー機能がついていない携帯電話機の接続方法については、携帯電話機の説明書をご確認ください。パソコンからご確認頂く場合は下のURLからご確認頂けます。
http://www.kashimura.com/goods/keitai/bluetooth/bl.html

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ（http://www.kashimura.com/）をご覧ください。
※ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

docomo

機種	ソニー XperiaZ(SO-02E)	ソニー XperiaSX(SO-05D)	サムスン GALAXY S4(SC-04E)
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ 機器の検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ 機器の検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了

機種	サムスン GALAXY S3(SC-06D)	LG L-04E	LG L-02D
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ Bluetooth機器のスキャン ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ（http://www.kashimura.com/）をご覧ください。
※ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

au

機種	アップル iPhone 6	サムスン GALAXY S III progre	ソニー IS11S
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 一般 ↓ Bluetooth ↓ オンにする ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ スキャン ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ 端末のスキャン ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了

機種	京セラ KYL21	シャープ IS17SH	パンテック PTL21
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ モバイルネットワーク ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ（http://www.kashimura.com/）をご覧ください。
※ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

SoftBank

機種	シャープ 203SH	シャープ 200SH	パナソニック 101P
ペアリング設定方法	アプリ ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ その他の設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了

機種	NEC 101N	富士通 201F	富士通 201F
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	アプリ ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了	アプリ ↓ 設定 ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-34/35/45/47/48」を選択 ↓ 接続完了

使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

【電源をONにする】
電源ボタンを青色ランプがつくまで約3～4秒押し続け、ランプがついたら離してください。（イヤホンからは「ピッ」という電子音が鳴ります。）ペアリングされた情報は各機器ともに残りますので、本製品の電源をONにすれば数秒後に携帯電話機が認識しそのまま使える状態になります。
＊携帯電話機が認識しない場合は携帯電話機で接続操作をしてください。
接続状況の確認方法については携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。

【電源をOFFにする】
電源ボタンを赤色ランプがつくまで約3～4秒押し続け、ランプがついたら離してください。（イヤホンからは「ピロリ」という電子音が鳴ります。）
＊電源がOFFの状態での時は電源ランプが消えたままです。

【電話をかける】
本製品からの発信はできませんので、携帯電話機から発信してください。相手が電話に出たら音量＋と音量－ボタンを同時に電子音が鳴るまで長押ししてください。
＊携帯電話機の機種により携帯電話から発信後に自動でイヤホンに切り替わる機種があります。
＊音量＋と音量－ボタンを同時に長押ししても切り替わらない機種の場合は携帯電話機で切り替えてください。

【電話をうける】
イヤホンから着信音がしたら電源ボタンを1回押します。
（イヤホンからは電子音が鳴ります。）

【電話をきる】
電源ボタンを1回押すと通話が終了します。
（イヤホンからは電子音が鳴ります。）

【リダイヤルする】
リダイヤルする場合は電源ボタンを2回連続で押してください。
＊2台の携帯電話機を使用している場合は、接続時に本製品を先に認識した携帯電話機1台のみの対応となります。
＊携帯電話機により連続でリダイヤルができない場合があります。
リダイヤル機能が働かなくなった場合は時間をおいてから再度リダイヤルをしてください。

使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

【着信を拒否する】
イヤホンから着信音がしたら＋音量ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。

【音量を調節する】
音量を大きくする場合は＋音量ボタンを音量を小さくする場合は－音量ボタンをそれぞれ数ぴつ押して調整してください。
＊音量がそれぞれ最大・最小になった時はイヤホンから電子音がなります。

【ミュート機能】
通話中に＋音量ボタンを電子音が鳴るまで長押しするとミュートOFF－音量ボタンを長押しミュート機能がONになり通話相手に自分の声が伝わらなくなります。
ミュート機能をOFFにする場合は、－音量ボタンを電子音が鳴るまで長押してください。
＊ミュート機能が動作中はイヤホンより電子音が4秒間隔で鳴ります。
＊携帯電話機の機種によりミュート機能が使えない場合があります。

【Siri(シリ)を起動する】＊iPhone対応
iPhoneのSiri機能を起動することができます。
音量＋と音量－ボタンを同時に押してください。
iPhoneの液晶画面にSiriのメッセージが表示されます。
Siriを終了する場合も音量＋と音量－ボタンを同時に押してください。
＊SiriはiPhone4s以降で動作します。
＊SiriはiPhoneのiOSのバージョンによって、機能が異なります。
＊Siriの設定や起動後の操作については公式サイトをご覧ください。

【衣服につける】
必要に応じて、クリップ部分の隙間に衣類などを滑り込ませ、装着してください。
＊クリップを無理に持ち上げると破損の恐れがあります。
＊厚手の衣服などに無理に装着すると破損の恐れがあります。
＊衣服に付けたまま通話したり、着信音を聞くことはできません。

使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

【マルチポイント※携帯電話の2台使用】
通話中にもう一台の携帯電話機に電話がかかってきた場合にはイヤホンマイクから電子音が鳴り電話がかかってきたことがわかります。下図のように電源ボタンを操作することにより、1台目の電話の通話を切り、通話保留にすることができます。

1台目：通話切る/2台目：通話	1台目：通話保留 /2台目：通話
通話切る　電源ボタンを1回押す　通話 1 1台目 携帯電話機 ））））））） 2 2台目 携帯電話機 ※＋音量ボタンを電子音が鳴るまで長押しすると2台目からの着信が通話拒否となります。	通話保留　電源ボタンを長押し　通話 1 1台目 携帯電話機 ））））））） 2 2台目 携帯電話機 ※通話保留中、通話相手側は無音状態となります。 ※電源ボタンを電子音が鳴るまで長押しすると、通話相手が切替わります。

【充電しながら待ち受けをする場合について】
本製品を充電しながら待ち受けする場合、ボタン操作はできません。
着信があり通話する場合は、USBケーブルを外してからご使用ください。
充電しながら待ち受けしている時の本製品のランプは、赤と青の交互点滅となります。

【自動電源OFF機能について】
以下の条件を満たすと本製品の自動電源OFF機能が働き、本製品の電源がOFFになります。

本製品と携帯電話機の通信距離が約10m以上離れる、又は、通信が途切れた場合	携帯電話機 ―― 約10m以上 ―― 本製品	約5分後に本製品の電源がOFFになります。
携帯電話機のBluetooth電源をOFFにした場合	携帯電話機 ―― Bluetoothの電源をOFF ―― 本製品	約5分後に本製品の電源がOFFになります。
携帯電話機と本製品をペアリング設定(接続)していない場合	携帯電話機 ―― ✕ ―― 本製品	約5分後に本製品の電源がOFFになります。

※一部の携帯電話機では、待ち受け中に自動電源OFF機能が働く場合がございます。

故障かな？と思ったら

症　状	考えられる原因	処　置
電源がONにならない。	電源ONの動作をおこなってもLEDが点灯しない場合は、バッテリーの残量が不足している。	付属のUSBケーブルを使用して充電してください。
	青いLEDが点滅している。	青いLEDが点滅している状態は電源がONの状態です。
ペアリングができない。	ペアリングモードになっていない。	電源OFFの状態から電源ボタンを5～8秒間押してペアリングモードにしてください。
	長時間、赤と青のLEDが交互に点滅している。	正常にペアリングをおこなう状態になっていない可能性があります。一度設定を中止し電源をOFFにしてから改めてペアリングをしてください。
通話音量が小さい。	音量レベルが小さくなっている。	ボリュームを上げてください。
通話ができない。	ペアリングが完了されていない。	ペアリングをしてください。
	携帯電話の設定がBluetooth イヤホン設定になっていない。	携帯電話機の設定を変更してください。
	着信時の操作が早い。	イヤホンから着信音がしてから電源ボタンを押してください。
	携帯電話機で発信してからイヤホンの切替えをしていない。	携帯電話機で発信後、イヤホンの切替えをしてください。
	携帯電話機から10m以上離れ、ペアリングが解除になっている。	携帯電話機から10m以内の範囲に入り携帯電話機で本製品との接続操作をしてください。
携帯電話機から着信音が鳴らない。	接続時に意図が出ない設定になる携帯電話機があります。	携帯電話機の取扱説明書を参考に設定を変更してください。
途中で通話が切れる。	鉄筋の入った壁、電子レンジなどの電気製品、放送局や無線局などが近くにある。	場所を移動して使用してください。
ノイズ音や音切れがする。	無線LAN、街中の電波干渉、携帯電話機を入れるポケットとは反対側の耳にヘッドセットを装着している時に発生する場合があります。	無線LANやWi-Fi接続のパソコンから離れていただくか、お体から携帯電話機を離してください。
携帯電話との接続が不安定になっている。	携帯電話機のWi-Fiの設定をONにしている時に発生する場合があります。	携帯電話機のWi-Fiの設定をOFFにしてください。
待ち受け中に電子音が鳴る。	バッテリーの残量が不足している。	付属のUSBケーブルを使用してください。

以上の処置をしても異合が悪い場合は事故防止の為、使用を中止しお買い上げの販売店、または当社までご相談ください。